

あまがさき 環境オープンカレッジ

(*Amagasaki Open College of the Environment*)



平成22年4月(改訂)

はじめに

あまがさき環境オープンカレッジは、“環境と共生するまち・あまがさき”を育てる人づくりを目的に、市民・学校・企業・行政が協働し、身近な自然、地球環境問題、暮らし、まちづくりなど、環境に関連した幅広い分野の学習・体験メニューを揃えた環境の学び場です。

あまがさきを愛し、環境を想う人たちが『学び合い・伝え合い・育ち合う』を合言葉に、人々をつなぎ、一人ひとりが環境に配慮した行動を実践できるようなまちになることを願い、みなさんの参加を心よりお待ちしております。

“環境と共生するまち・あまがさき”を育てる人づくり
あまがさきをこよなく愛し環境を想う人たちに
まちじゅうが学びの場
学ぶ・調べる・育てる・楽しむ
活動の輪を広げる環境ネットワークづくり

あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会

あまがさき環境オープンカレッジ開校までの経過

- | | |
|--------------------|---------------|
| ・あまがさきオープンカレッジ基本構想 | 平成21年2月 |
| ・実行委員会準備会 | 平成21年2月から6月まで |
| ・実行委員会設立 | 平成21年7月11日 |
| ・開校 | 平成22年4月1日 |

まちじゅう学び場『あまがさき環境オープンカレッジ』

～ 環境と共生するまち・あまがさき を育てる人づくり ～

趣旨

今日、わたしたち人類は大きな岐路に立っています。産業革命以来続いてきた科学技術の急速な進歩は、文明社会を飛躍的に発展させ、わたしたちの生活を便利なものに大きく変化させてきました。一方では、資源の大量消費や経済のグローバル化など拡大を続ける経済活動により、地球温暖化などの環境問題、先進国と発展途上国の経済格差や世代間の不公正さの拡大、地域文化の喪失といった、地球規模で時代を超えた様々な課題に直面しています。

地球は、わたしたちにとって、命を与え、育んでくれるかけがえのない宝物です。この宝物は、未来の子どもたちからの預り物であり、人類一人ひとりに等しくその恵みを受け権利があります。そのためには、今を生きる私たちが、それぞれの立場で環境をしっかりと守り、育み、それらを将来世代に引き継いでいかなければなりません。

今はまさに、ライフスタイルや社会のあり方をどのような方向に舵を切っていくのか、国のあり方、地域のあり方、企業のあり方、また人としての生き方が、わたしたちに根本から問われている時代です。

尼崎市は、我が国屈指の重化学工業都市として、国の経済発展の一翼を担ってきましたが、その過程では、産業活動に伴う大気汚染や水質汚濁などの深刻な公害問題、人口・産業の集中による緑とオープンスペースの減少といった歴史を経験してきました。しかし今では、そのような歴史を教訓にして、市民や学校、企業が、それぞれに環境問題に先進的に取り組むすばらしいまちに変わりつつあります。

このような取組みをさらに発展させていくためには、これまで以上に、市民や地域が持つ潜在的な力を活かし、育み、そのすそ野を広げていくこと、また、そのための情報の発信や共有化、ネットワークづくりが何よりも大切です。

このたび、その取組みの一つとして、「尼崎市環境基本計画」が目指す“環境と共生するまち・あまがさき”を育てる人づくりを目的に、市民・学校・企業・行政の協働のもと、身近な自然、地球環境問題、暮らし、まちづくりなど、環境に関連した幅広い分野の学習・体験メニューを揃えた環境の学びの場「あまがさき環境オープンカレッジ」を開校します。

めざすもの

環境と共生するまち・あまがさき を育てる人づくり

あまがさきをこよなく愛し環境を想う人たちが『学び合い・伝え合い・育ち合う』を合言葉に集い、新たな発見や学び、人との出会い、そして、実践へのきっかけづくりを通じて“環境と共生するまち・あまがさき”を育てる人づくりをみんなで力を合わせて進めていきます。人々をつなぎ、46万市民一人ひとりが環境に配慮した行動を実践できるようなまちになることを願っています。

ねらうもの

学びあいの場をつくる（持ち寄りを持ち帰り）

一方通行の共有や啓発ではなく、お互いに持っている資源を活かし、ある時には伝える側、ある時には学ぶ側に立って、相互に学びを深めよう。自らの資源を持ち寄り、得られた成果を持ち帰り、お互いがこれからの活動に活かそう。

あまがさきの未来を真剣に考える

本音と責任ある議論の中から、愛するあまがさきの未来を真剣に考えよう。

考える人から行動する人へ

地球温暖化防止や住みやすいあまがさきの実現に向けて、学びと議論の成果を活かし、着実に一歩ずつ行動できる市民として育とう。

活動の輪を広げる

一人でも多くの市民を巻き込み、活動の輪を広げることによって、あまがさきを変えていく力となろう。

環境ネットワークをつくる

市民環境講座や尼崎と日本、世界の環境情報をわかりやすく伝えるしくみづくりなど市民への環境情報の提供、交流の場づくりを通じて、環境学習に関わる市民・学校・企業・行政などをつなぐ環境ネットワークを構築しよう。

オープンカレッジ

参加資格は「環境と人の輪ごころ」です

「環境を学んでみようかな」、「何か活動しようかな」といった思いが少しでもあれば、だれでも参加できます。

<だれでも>

子どもから大人、シニア世代まで。環境に詳しい人もそうでない人も

まちじゅうが学びの場です

教室は決まっていません。ルーム・エコクラブをはじめとする学習施設、学校、企業、公園や川などの身近な自然、まちじゅうすべてが環境の学びの場（キャンパス）です。

<どこでも>

地域 学校 職場 商店街 家庭 野外 公共施設 など

こんなことを学びます

環境問題といっても単に環境や資源のことだけ考えていては解決しません。環境は社会の様々な分野と地域や時代を越えて深くつながっています。環境に関することはもちろん、環境以外のことから環境との関わりを考えてみましょう。

<なんでも>

環境 自然 経済 農業 食 健康 文化 歴史 福祉 子育て 趣味 遊び など

運 営

支えるところ

市民環境講座の企画、募集、開催、広報等を実施していくために、様々な主体が協力し合い「あまがさき環境オープンカレッジ(AOCE)実行委員会」(事務局:ルーム・エコクラブ)を組織し、「あまがさき環境オープンカレッジ」を運営します。

また、実行委員会の中に、実働組織としてワーキングチーム(WT)を必要に応じ設置します。(企画運営WT、広報WTなど)

育むところ

「あまがさき環境オープンカレッジ」は、みんなで考えみんなで創る環境講座で成り立っています。市民・学校・企業・行政が持っているアイデアやノウハウなど、それぞれの資源(知恵、人財、技術、伝統...)を持ち寄って講座を企画・実施します。個人から団体・企業まで、すべての講座にそれぞれの“あまがさきへの想い”が詰まっています。



カリキュラム

学ぶ（バランスのとれたカリキュラム）

- ・あまがさき環境塾などAOCCE実行委員会主催事業の企画運営
- ・環境学習（行動）講座・イベントの共催・連携

主催講座：あまがさき環境塾、AOCCE実行委員会主催講座・フォーラム など

共催講座：市民団体等との共催講座（公募）

連携講座：市主催講座・フォーラム、市民団体主催講座、企業主催講座、大学公開講座、学校出前講座 など

調べる

- ・尼崎と日本、世界の環境情報をわかりやすく伝えるしくみづくり
- ・あまがさき環境副読本の企画制作

育てる

- ・エコロジカルな次世代（あまがさきエコ現人）を育てる
- ・経験や体験を通じて夢をもって行動できる人づくり
- ・市民環境団体などの交流の場づくり

楽しむ

- ・学習メニューは豊富で楽しめるもの
- ・身の回りのいろいろなことから環境を楽しく考える

あまがさき環境オープンカレッジ

<学ぶ>

主催講座

共催講座

連携講座

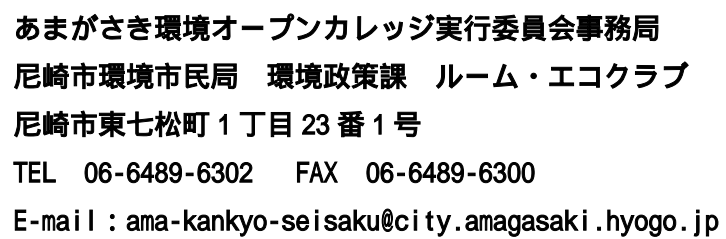
<調べる>

情報の収集と発信・・・あまがさき環境副読本

<育てる>

エコロジカルな次世代・行動できる人・交流の場

- どんなことでも楽しみながら -



あまがさき環境オープンカレッジ実行委員会事務局
尼崎市環境市民局 環境政策課 ルーム・エコクラブ
尼崎市東七松町1丁目23番1号
TEL 06-6489-6302 FAX 06-6489-6300
E-mail : ama-kankyo-seisaku@city.amagasaki.hyogo.jp